



2026年2月7日 (土)
脳神経小児科 市民講座



こどもの主体性を支える看護 -プレパレーションから始まる対話-



3階南病棟 副看護師長
小児看護専門看護師
矢野悠

入院するということ

嫌だな

いつもの友達と遊べない

知らない人がたくさん

何するんだろう

勉強に遅れないかな

なぜ？

どうして？



こどもまんなか

こども基本法（令和5年4月施行）

こどもの最善の利益を第一に

こどもの権利を保障

こどもの声を聴く



どのような時も

こどもをまんなかにおき成長・発達を支える

プレパレーションとは

- こどもの権利を尊重しながら医療・看護を提供するためのケアの一つ
- 病気の治療・処置・検査・手術などによるこどもの不安を最小限に、乗り越えていく力を高めるため、**こどもに合わせた心の準備やケアを行うこと**

正しい情報を伝えること
気持ちを受け止めること
こどもと病院スタッフの間に信頼関係を構築

プレパレーションとは

例：採血の場面

怖くない方法で

検査中



わかりやすい説明

検査前

検査後

気持ちの整理

明確な始まりと終わりはない
対話を続けていくプロセス

こどもの主体性を支える看護

プレパレーションを行う

苦痛を最小限に

安全に



プレパレーションを行い一緒にこどもの心の準備
こどもが持っている乗り越える力・主体性を支える

Aさん 手術



今回の検査入院でてんかんの手術をすることが決まった

Aさん8歳

一緒に入院しているお母さんと手術をする先生・外来からずっと知っている先生・看護師で相談しわかりやすい説明について検討

Aさんとみんなで「手術の作戦会議」（手術の説明）を実施

お話しが終わってからもAさんはいつもと変わらない様子

お母さんと相談し看護師からAさんにお話しを聴いてみることに

※事例は実際の経験をもとに構成した架空のものです

Aさんの思いを聴くために

お母さんも先生も普段はもっとお話しするって
入院してから
てんかん発作や病気・手術のことばかり話されている
いつもと違う環境で病気ことをたくさん耳にしている
Aさんはどんな思いなのだろう



Aさんの思いを聴く

- 絵カード/いえのなか
- 好きなこと・まあまあなこと・嫌いなこと



おしゃべりは好き
テレビを見たりスマホで動画見
たりするのも好きだよ
それでね、あのね・・・



病院の中でも今みたいに
「自分の好きなこと」「嫌いなこと」を教えてね

入院しているこどもとの対話

- こどもにとって病院という非日常的な空間において自分の意見を他者に伝えることは難しい
- 看護師が遊びや様々なコミュニケーションツールを用いて対話できる環境を作ることも大切

気持ちを受け止めること
こどもと病院スタッフの間に信頼関係を構築

プレパレーションを通して生まれた
こどもと対話

Bさん MRI検査



てんかん Bさん6歳
検査目的でお母さんと一緒に入院
入院は2回目
明日はMRI検査があります
看護師から明日の検査の説明を受けるところです

※事例は実際の経験をもとに構成した架空のものです



明日はMRI検査を予定しているよ
Aさんはやったことあるかな？

MRIってなんだかよくわから
ない、痛いの？



MRIは痛くないよ
Aさんは動画好きかな？
動画でMRIを看護師さんと一緒に見てみよう



動画は好きだよ
見てみたい！



1

ミライちゃんのはじめての
えむあーるあい
MRIけんさ

2



えむあーるあい
MRIって
なんだろう？
ちょっと
ドキドキするな…

3



これがMRIだよ。大きなドーナツみたいだね！

4

けんさの
ながれを
せつめいします



5



1かいの15ばんでうけつけをします

6



おなまえとおたんじょうびをおしえてね

7



からだにきんぞくがないかチェックします

8



カメラからこんな音ができるよ

9



こわくなったら、このブザーをにぎっておしえてね

10



なにかききたいことがあったら、いつでもきいてね

NCNP検査動画より抜粋





どうだったかな？

動画を見たら前にやったことあつたのを思い出したよ
前は大丈夫できたから
明日もきっとできる！



プレパレーションでこどもの主体性を支える

もう検査したくない

わからないから不安

入院したくない

こどもの主体性、土台をつくるのが プレパレーション



予測可能性をつくる
コントロール感を守る
成功体験を積み重ねる

さいごに

プレパレーションから始まる対話とこどもの主体性を大切にする看護

こどもの声を聴いて、尊重する
こどものもつ力を最大限に
成長・発達を支える
いつでも相談できる存在

ご紹介 NCNP 検査・処置 動画

こども向けの検査・処置の説明 動画のご案内①

こどもが受ける検査や処置について、やさしい言葉で説明しています。実際の検査室の様子も映像で紹介しているので、事前に雰囲気を知ることができます。
この動画は、
- こどもが検査の内容を理解し、
- 不安な気持ちを抱かなくても受け、「できた！」という自信につながる、
- 前向きな医療体験となることを願って作りました。
スマートフォンのカメラでQRコードを読み取ると、すぐに動画もご覧いただけます。お子さんと一緒にご覧ください。Youtube、NCNP channelにアップロードしています。



対象年齢目安参考
幼児期 (3歳～) **小学校 低学年** **小学校 中学年**

お子さん向けの検査・処置の 説明動画のご案内②

髄液検査 	CT検査
採血・点滴 	脳波検査
MRI 	長時間ビデオ脳波
脳血流スペクト 	MEG (脳磁図)
手術 	内服鎮静 (保護者向け)
大脳誘発電位検査 	末梢神経伝導検査・筋電図
動画一覧はこちら 	
注意事項 <ul style="list-style-type: none"> 検査の必要性は医師の診察のもとに慎重に判断されます。 実際の検査の順序や内容は、動画の説明と若干異なる場合があります。 お子さんの状態や検査の目的により、動画と異なる対応をさせていただく場合があります。 ご不明な点は、担当の医師・看護士にお気軽にお尋ねください。 NCNP病院 脳神経小児科	

- こどもの検査についての理解を進め、不安を軽減し、自信を育み、医療体験を前向きなものにすることを目的に国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科と小児看護のチームで作成
- 他の年代のお子さんに向けても検査の手順を視覚的に伝えることができるよう工夫

参考・引用文献

- 及川郁子（監）「小児看護ベストプラクティス チームで支える！子どものプレパレーション 第2版 中山書店 2013
- 染谷奈々子（編）「いい顔生まれる こどもまんなか小児看護技術」第1版 へるす出版 2024
- 堀正嗣「子どもアドボケイト養成講座 子どもの声を聴き権利を守るために」明石書店 2020
- 高橋衣（2016）小児看護に携わる看護師の子どもの権利擁護実践に至るプロセス.日本小児看護学会誌
- 一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク, <https://sdm-japan.com/talking-mats/>, 2026,2,7アクセス